

# 岩手県 宮古市

宮古市は、太平洋に面した陸中海岸国立公園のほぼ中央に位置し、南部鼻曲鮭で有名な漁業と観光のまちです。海岸線では、本州最東端の岬「鮭ヶ埼」をはじめ、名勝「浄土ヶ浜」や奇岩「三王岩」など壮大なリアス式海岸が刻む絶景を望むことができます。

一方、広大な面積を有し、高山植物の宝庫として知られる早池峰山を筆頭に北上高地から連なる緑豊かな山々に囲まれ、美しい渓谷を流れる閉伊川など恵まれた自然環境にあります。

また、源義経北行伝説にかかわる史跡や平成27年に開港400周年を迎えた宮古港などがあります。



宮古市への  
アクセス



## ACCESS

### 飛行機

札幌	約55分	花巻
名古屋	約1時間10分	花巻
大阪	約1時間20分	花巻
福岡	約2時間5分	花巻

※花巻空港から盛岡駅までバスが出ております

### 自動車

浦和I.C.	約505km	盛岡南I.C.
盛岡南I.C.	約100km	宮古
東京	約9時間	宮古
盛岡	約2時間10分	宮古

### JR

東京	約2時間10分	盛岡
盛岡	約2時間10分	宮古
花巻	約35分	盛岡
平泉	約1時間20分	盛岡

## イベント

豊かな海産物に恵まれた宮古市では、鮭、毛ガニ、山菜、秋刀魚などの美味しく楽しいイベントがたくさんあります。

1月	元旦	初日の出遊覧船
	上旬	宮古鮭まつり
2月	中旬	宮古毛ガニまつり
4月下旬～ 5月上旬	ゴールデンウィーク	浄土ヶ浜まつり
5月	初旬	やまびこ山菜まつり
6月	第2日曜日	早池峰山山開き
7月	第3日曜日	宮古港カッターレース
	下旬	宮古夏まつり
	第1土・日曜日	やまびこフェスタ
9月	第1日曜日	閉伊川川下り大会
	中旬	みやこ秋まつり
	下旬	秋刀魚づくし
	下旬	宮古市産業まつり
10月	上旬	三陸シーカヤックマラソン in 宮古
	第3日曜日	新里まつり
	下旬	鮭ヶ埼灯台一般公開
11月	第2日曜日	宮古サーモン・ハーフマラソン大会
	下旬	鮭・あわびまつり



三陸海岸の絶景  
じょうどがはま

## 浄土ヶ浜

三陸復興国立公園の中心となる浄土ヶ浜は、三陸を代表する景勝地です。

平成24年1月には、国の名勝に指定されており、鋭く尖った白色流紋岩の白い岬は、紺碧の海、緑のアカマツのコントラストでさらに際立っています。



高山植物の宝庫  
はやちねさん

## 早池峰山

標高1,917メートルの北上高地の最高峰で、ハヤチネウスユキソウなどの多様な高山植物が、登山者を魅了しています。

毎年6月の第2日曜日に山開きが行われます。



## 宮古港

元和元年（1615年）に開港した宮古港は、平成27年（2015年）で400年目の節目を迎えました。大坂夏の陣が終わり、徳川の世に移り変わる時代に南部藩によって開港されました。

南部藩から幕府に献上、または販売するために、塩鮭、棒鱈、のしあわび、昆布などのいわゆる三陸俵物が東回り航路を通じて、江戸へ移出されていた歴史があります。

その歴史を踏まえ、平成27年夏に宮古港開港400周年記念事業が行われ、三陸俵物の海路による移送の再現を図り、三陸俵物を東日本大震災の際に援助を受けた東京都内の諸機関や人々に届けました。

平成27年8月10日には、品川区役所を訪れ、定期的に義援金による復興支援を行っている「武蔵小山を愛する会」、「八潮まつり実行委員会」に特産品の鼻曲鮭等の三陸俵物が贈呈されました。



宮古港海戦記念碑



江戸時代からの名産品 鼻曲鮭



三陸俵物



# 品川区職員派遣～宮古市復興にむけて～



品川区は平成 24 年度から東日本大震災の被災地である岩手県宮古市へ、区職員を長期派遣することになり、平成 28 年度には、5 名の職員を派遣し、職員は被災地支援という使命感をもって、日々懸命に被災地の復興のため業務を行いました。

品川区と宮古市とは、毎年目黒駅前で開催される人気イベント「目黒のさんま祭り」が縁で、平成 14 年から災害時における相互援助協定を締結しています。

## 平成 27 年度 宮古市への派遣発令式の様子



私が所属する水産課は、宮古市の水産業を支える縁の下の力持ちです。

現在も復興に向け、市長以下、職員が一丸となって毎日遅くまで働いています。

宮古の水産物をご愛顧いただき、復興への歩みを加速させていただきたいと思います。



復興した  
宮古市の漁港の様子



宮古市水産課 笠原 浩司  
【平成 25 年 4 月～派遣】  
写真は復興イベントの様子



宮古市都市計画課 遠藤 慎之  
【平成 25 年 4 月～派遣】

私が所属する都市計画課は、宮古市の復興まちづくりの心臓部であり、職員一同、全力で復興へ向けて頑張っています。

私の担当は、防災集団移転促進事業などの事業手法を用い、復興事業を行いました。